

市政懇談会への意見・提言集約

〈青山地区〉

① 青山7丁目団地開発プロジェクトの進捗について

7丁目の用途地域変更の法的手続きと地区計画は進行中、10月市政懇談会時点で原案作成、知事協議回答まで進んでいると理解しているが、進捗状況について説明頂きたい。また、「住み続けられるまち」、「住み替えができるまち」のコンセプトを取り入れ、さらに市の施設検討を含めたまちとしての具体案はどうなっているかお聞きしたい。この具体案が青山住民の最も大きな関心事と思っている。

② 緑が丘東幼稚園の存続、延長の可能性について

緑が丘東幼稚園は、令和5年閉園となっているが、三木市幼保一体化計画は、保護者ニーズや子供の減少が計画通りでない状況から見直しが検討されていると聞いている。対応の一つとして公立幼稚園の存続も上げられており、青山地区としては緑が丘東幼稚園の存続、閉園延長の可能性について是非お聞きしたい。また、存続の可能性があれば、保護者ニーズが強い午後のあずかり保育、3才児入園を検討いただけないか。青山7丁目の団地再耕や情報公園都市の2次開発など、このエリアで子どもたちが将来急速に減少することは考えにくい。青山7丁目団地再耕のモデルとしても緑が丘東幼稚園存続を再考願いたい。より一層活性化出来るのではないかと考える。

③ 生活道路の点検と早期舗装工事の実施について

生活道路、歩行者専用道路（赤道）において、アスファルトの老朽化により道路面の凸凹が激しく、下の砂利石が飛び出して、突き出た形になっている。運動機能が低下している高齢者にとっては、非常に危険な状況にある。歩行補助としての4輪歩行器を押す際にも、路面状況が悪い為、思う様に進むことができない。また、電動車椅子を使用する際、フラット方式の歩道ではない為、各家屋入口の段差が危険で、車道を走らないと行けない状態にある。道路修繕計画1回目の5年計画が終わっているので、新たな道路修繕計画を立てていただき、青山全体の生活道路の確認を早期に実施し、舗装工事や歩道の改修の検討を願う。